

I 調査の概要

1. 調査の目的

浦安市では、男女共同参画関係の市民意識調査として、平成元年度「女性問題に関する意識調査—浦安市女性問題基本調査」、平成3年度「男女がともに豊かにいきいきと暮らすために—浦安市女性問題に関する意識調査」、平成12年度「男女共同参画社会づくりに関する市民意識調査」（以下、12年度調査とする）、平成17年度「男女共同参画社会づくりに関する市民意識調査」（以下、17年度調査とする）を実施してきた。

また、浦安市では、男女共同参画社会の実現に向けて、上記の意識調査などを基礎資料とする「改定うらやす男女共同参画プラン（計画年度：平成19～23年度）」に基づき、さまざまな施策を展開してきた。

本調査は、「改定うらやす男女共同参画プラン」の計画期間終了に伴い、上記の意識調査の数値の経年変化を測定するとともに、平成23年度に予定している「第2次うらやす男女共同参画プラン」（仮称）策定の基礎資料を得ることを目的として実施するものである。

2. 調査方法と回収状況

- (1) 調査対象 浦安市内在住の満20歳以上の男女3,000人（男女各1,500人）
- (2) サンプルング 住民基本台帳（平成22年10月1日現在）により性別に層化し無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送配布・郵送回収（督促礼状1回送付）
- (4) 調査項目 次頁参照
- (5) 調査期間 平成22年11月11日～11月26日
- (6) 回収状況

		標本数	回収数	回収率
全体		3,000	1,525	50.8%
男女別	女性	1,500	899	59.9%
	男性	1,500	612	40.8%
	不明	—	14	—

【参考】

		17年度調査		12年度調査	
		回収数	回収率	回収数	回収率
全体		1,206	40.2%	1,389	46.3%
男女別	女性	703	46.9%	806	53.7%
	男性	481	32.1%	558	37.2%
	不明	22	—	25	—

いずれも標本数は3,000（男女各1,500人）

3. 調査項目

質問内容の()内は調査票の質問番号。調査項目 1~8 は本報告書の内容順に準じる。

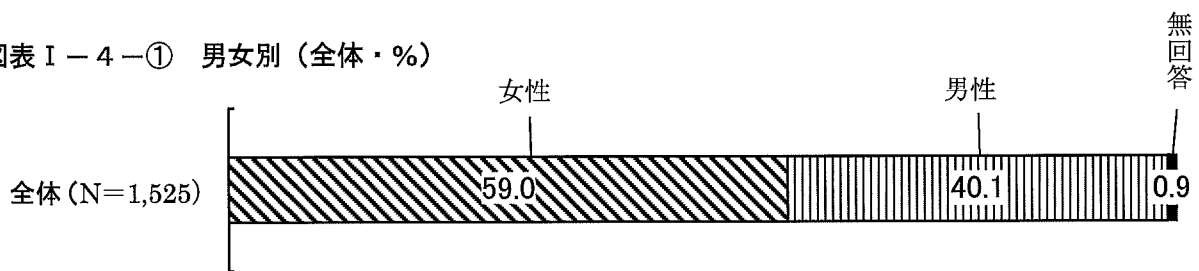
調査項目	質問内容
1. 男女共同参画社会づくりに関する意識	(1) 男女の地位の平等感 (問 26)
	(2) 性別役割分業意識と結婚、育児、離婚に対する考え方 (問 6)
	(3) 女性の働き方の理想と現実 (問 14)
	(4) 女性が責任ある立場に就くことについての考え方 (問 27)
2. 日常生活について	(1) 仕事や家庭生活などの優先度 (問 1)
	(2) 1日の生活時間 (問 2)
	(3) 夫婦の役割分担の実態 (問 5)
	(4) 社会活動の参加状況・参加意向 (問 3、問 4)
3. 老後や介護について	(1) 老後生活への不安 (問 17)
	(2) 介護経験の有無 (問 18)
	(3) 老後や介護についての考え方 (問 15)
4. 教育について	(1) 教育についての考え方 (問 15)
	(2) 学校教育に必要なこと (問 16)
5. 職業生活について	(1) 職業の有無 (問 10)
	(2) 働き方 (問 11)
	(3) 働いていない理由と今後の就労意向 (問 12、問 12・1)
	(4) 働きやすい社会環境に必要なこと (問 13)
6. 健康について	(1) 健康診断の受診状況 (問 7)
	(2) ストレスの感じ方 (問 8)
	(3) リプロダクティブ・ヘルス/ライツに対する考え方 (問 9)
7. 女性の人権について	(1) メディアにおける性的表現についての考え方 (問 19)
	(2) 夫婦・パートナー間の暴力に対する認識 (問 20)
	(3) DVを受けた経験と命の危険を感じたことの有無 (問 21、問 22)
	(4) DVに関する相談 DVに関する相談の有無(問 23)、相談した相手 (問 23・1)、相談しなかった理由 (問 23・2)
	(5) DVに関する対策や援助に必要なこと (問 24)
8. 男女共同参画社会づくりのための施策	(1) 男女共同参画に関する言葉の認知度 (問 25)
	(2) 女性プラザとその事業の認知度 (問 28)
	(3) 男女共同参画社会実現に向けて市が推進すべき施策 (問 29)
フェイスシート	F1.性別 F2.年齢階層、F3.家族構成、F4.結婚の有無 (付問：共働きの有無)、F5.子どもの有無 (付問：末子の年齢)、F6.居住地域
自由記述	

4. 回答者のプロフィール

(1) 男女別

回答者の男女比は、女性 59.0%、男性 40.1%であり、ほぼ 6 対 4 の割合で女性のほうが多い。この傾向は 12 年度調査、17 年度調査ともほとんど同じになっている。

図表 I - 4 - ① 男女別（全体・%）



【参考 1】12 年度調査、17 年度調査における男女比 (%)

	女性	男性
12 年度調査	58.0	40.2
17 年度調査	58.3	39.9

【参考 2】浦安市の男女別人口構成比 (%) 平成 23 年 3 月 1 日現在の全人口

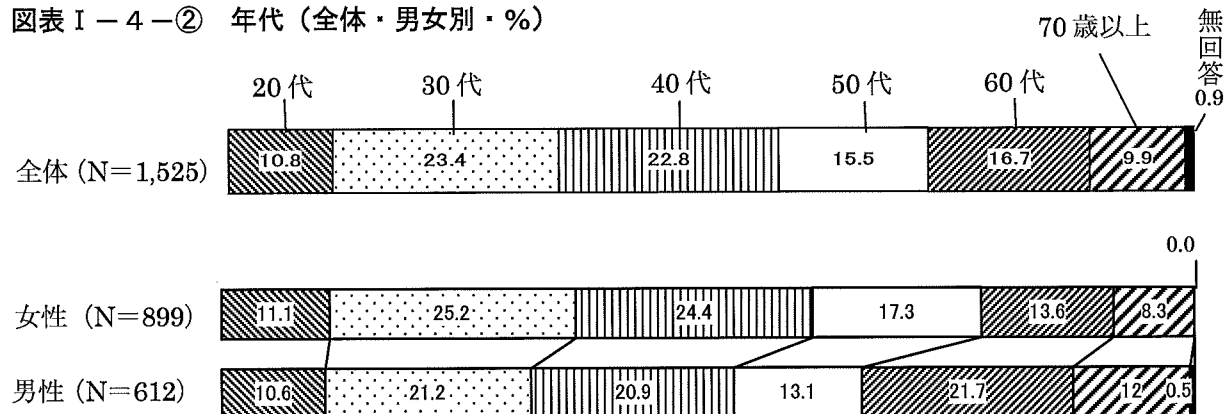
	女性	男性
全体	50.0	50.0

(2) 年代

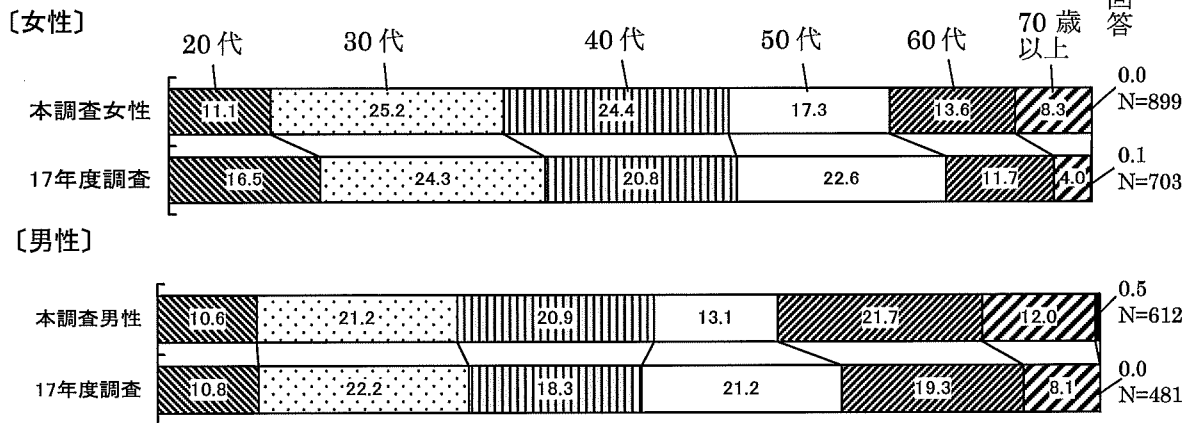
回答者の年代は 30 代 (23.4%)、40 代 (22.8%) が多い。次いで 60 代 (16.7%)、50 代 (15.5%)、20 代 (10.8%) の順となっている。中堅世代が比較的多い調査であるといえる。

男女別では、女性は 30 代 (25.2%)、40 代 (24.4%) となっており、これら 2 つの年代で 5 割近くを占める。一方、男性は 30 代 (21.2%)、40 代 (20.9%)、60 代 (21.7%) がいずれも 2 割を超え、中堅世代と 60 代の 2 つの山がある。

図表 I - 4 - ② 年代（全体・男女別・%）



【参考一男女別経年変化・%】

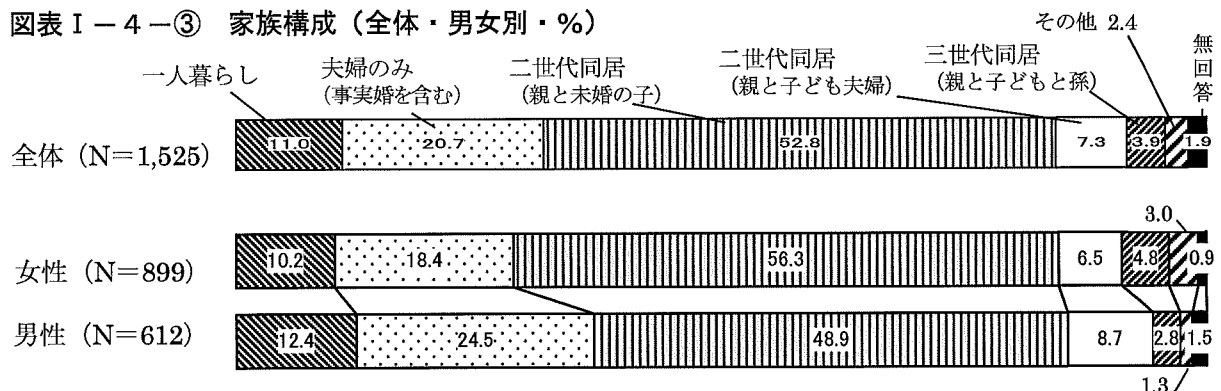


(3) 家族構成

回答者の家族構成は、全体では「二世世代同居（親と未婚の子）」（52.8%）が最も多く、過半数を占めている。次いで、「夫婦のみ（事実婚を含む）」（20.7%）、「一人暮らし」（11.0%）と続く。

男女別でも、男女ともに「二世世代同居（親と未婚の子）」が最も多く、次いで「夫婦のみ（事実婚を含む）」「一人暮らし」と続く。「二世世代同居（親と未婚の子）」は女性のほうが男性よりも多く、「夫婦のみ（事実婚を含む）」「一人暮らし」は男性のほうが女性よりも若干多い。

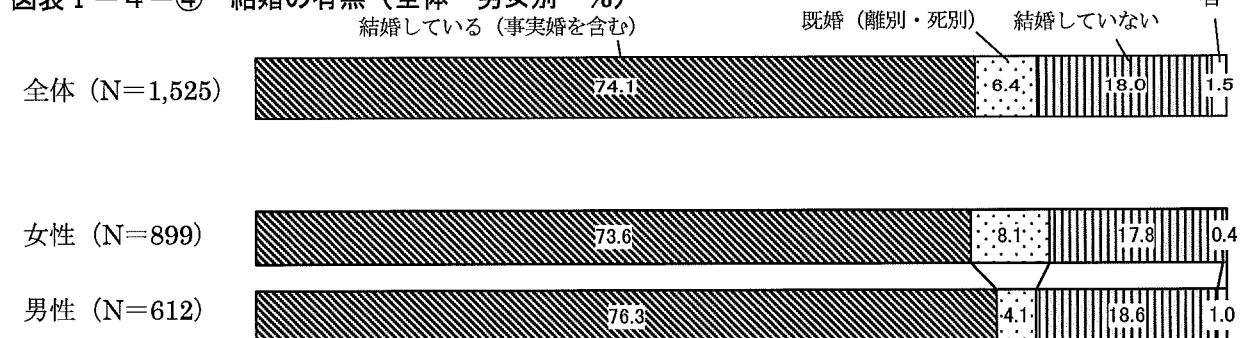
図表 I - 4 - ③ 家族構成（全体・男女別・%）



(4) 結婚の有無

結婚の有無についてみると、全体では、「結婚している（事実婚を含む）」が最も多く（74.1%）、「結婚していない」は2割以下ときわめて少ない。

図表 I - 4 - ④ 結婚の有無（全体・男女別・%）

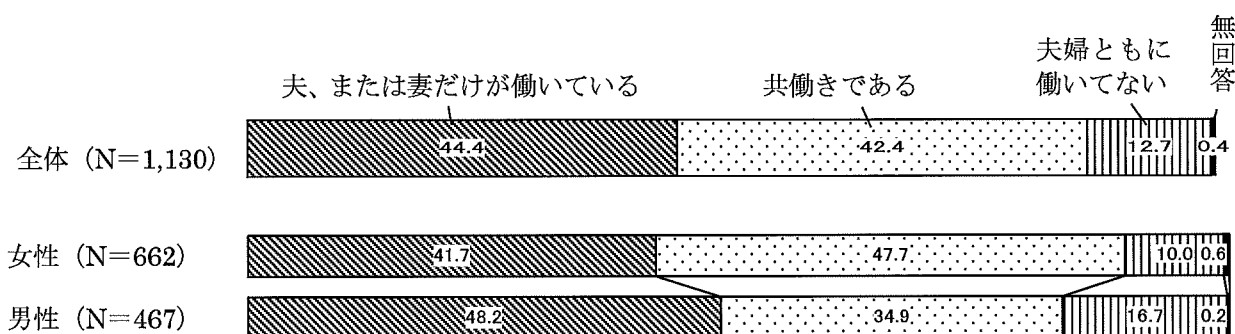


(5) 夫婦の働き方

「結婚している（事実婚を含む）」と答えた回答者に夫婦の働き方についてたずねたところ、全体では、「夫、または妻だけが働いている」（44.4%）と「共働きである」（42.4%）がともに4割台で、両者の比率は拮抗している。

男女別では、女性は「共働きである」が47.7%、男性は、3割台と少なく（34.9%）、「自分だけが働いている」が5割に近い（48.2%）。共働き率としては、女性が男性を10ポイント以上上回っている。

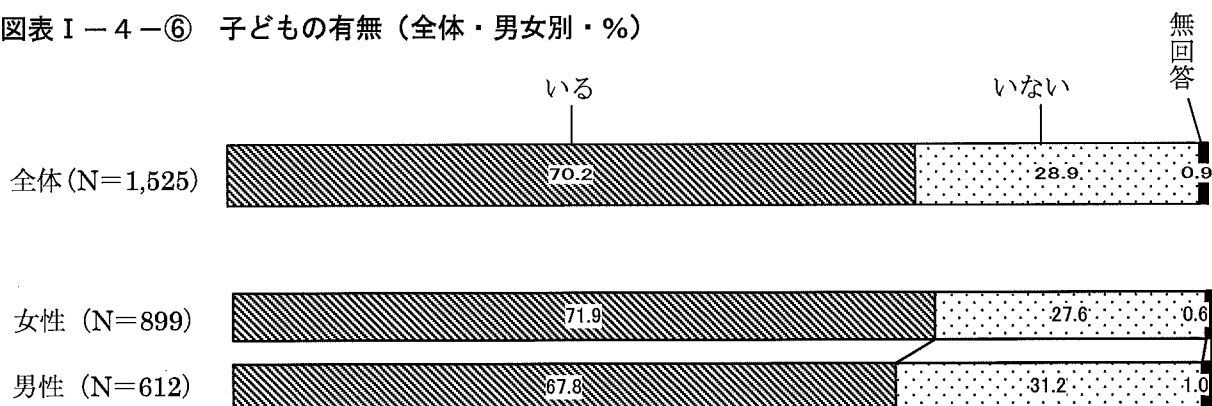
図表 I - 4 - ⑤ 夫婦の働き方（全体・男女別・%）



(6) 子どもの有無

子どもが「いる」と答えた回答者は、全体では70.2%である。男女別でも、女性が71.9%、男性が67.8%となっており、女性のほうが若干多いものの、男女の比率に大きな開きはない。

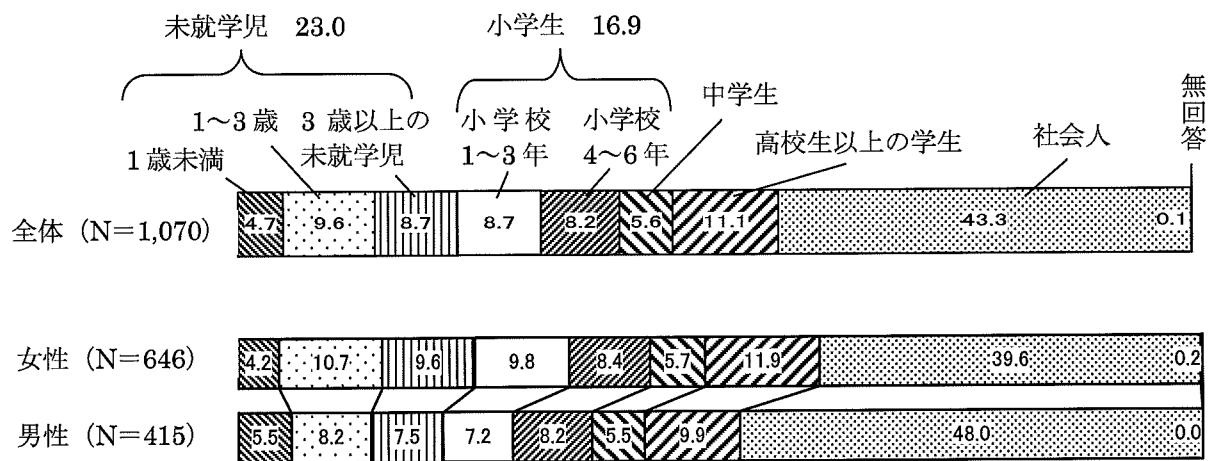
図表 I - 4 - ⑥ 子どもの有無（全体・男女別・%）



(7) 末子の成長段階

子どもが「いる」と答えた回答者に、末子の成長段階をたずねたところ、全体では、「社会人」が最も多く、43.3%を占めている。次いで、「未就学児」（23.0%）、「小学生」（16.9%）と続いている。

図表 I - 4 - ⑦ 末子の成長段階（全体・男女別・％）

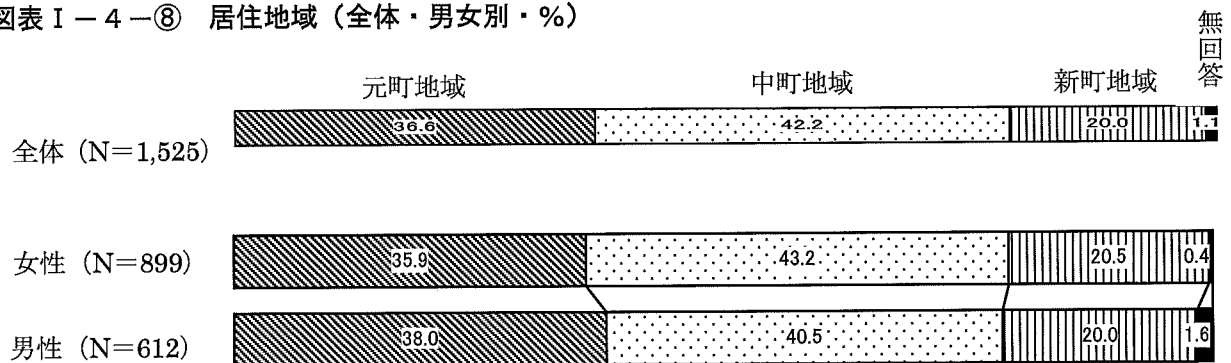


(8) 居住地域

居住地域をみると、全体では、「中町地域」(42.2%)が最も多く、次いで「元町地域」(36.6%)、「新町地域」(20.0%)となっている。

男女別でも、比率に若干の違いはあるが、傾向は変わらない。

図表 I - 4 - ⑧ 居住地域（全体・男女別・％）



※地域区分は以下のとおりである。

- ・元町地域……当代島、北栄、猫実、堀江、富士見
- ・中町地域……海楽、東野、美浜、入船、富岡、今川、弁天、舞浜、鉄鋼通り
- ・新町地域……日の出、明海、高洲、港、千鳥